

# 山梨県総合計画

**性格** あらゆる県計画の上位に位置する、新たな県政運営の基本指針

**期間** 2019(令和元)年度から2022(令和4)年度までの4年間

## 基本理念 2040年の山梨が目指すべき姿

### 県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし

- ① 価値を生み出す産業 産業の高付加価値化により魅力的な仕事が増加
- ② 一人ひとりの可能性を広げる教育 一人ひとりが多様な個性や能力を発揮
- ③ 多様性が強みとなる共生社会 誰もが生涯を通じて職場や地域で活躍
- ④ 将来に向け持続可能で安心できる生活 持続可能な社会の中で健康寿命が延伸
- ⑤ 快適な生活空間 産業や生活を支え、守る基盤を整備

県民一人ひとりにとっての豊かさも多様化し、また、それぞれのライフステージによっても変化していくと考えられます。日本全体として人口減少が見込まれ、戦後の高度成長期のような急激な経済成長は見込みづらい中で、県民一人ひとりが考える個性ある豊かさを実感するためには、県全体として経済、社会、環境、それぞれの豊かさを維持・拡大させながら、県民一人ひとりの生活の質を向上させていくことが必要となります。

県民が持つ「豊かさ」のイメージ

(%)

	全体	男性	女性	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
心身の健康	51.6	48.8	54.5	35.0	35.6	39.2	52.6	52.2	62.4	60.7
時間的なゆとり	39.7	38.1	41.5	37.5	34.7	53.2	44.0	47.4	32.2	28.8
快適な居住環境	37.5	38.4	36.6	32.5	29.7	37.4	40.5	39.9	41.1	34.1
収入や資産が多い	36.4	40.0	32.6	47.5	51.0	50.5	41.2	35.2	29.9	16.5
恵まれた人間関係	31.8	30.3	33.5	32.5	29.2	35.1	37.1	29.0	28.1	32.6
恵まれた自然	26.1	26.6	25.6	32.5	25.7	20.3	18.6	21.5	28.7	40.4

〔平成29年県民意識調査〕

## 注目 2040年の将来像をマンガで紹介!

総合計画の策定に当たっては、山梨県の将来像など若手県職員の意見を参考にしています。また、「2040年への手紙～山梨県総合計画の目指す未来～」を作成し、2040年の山梨の姿をマンガで分かりやすく描いています。詳しくは県ホームページをご覧ください!



長崎知事ら幹部と若手県職員との意見交換



本県が目指す姿を県民の皆さまと共有するため、また、その実現に向けたさまざまな取り組みを効果的・効率的に推進していくため、県の取り組みの設計図となる総合計画を策定しました。この計画を基に、誰もが輝ける場所、幸せになれる場所となるよう、一人ひとりが抱く夢や希望を実現できる山梨、もっと豊かさを実感できる山梨をつくります。

## 人口の将来展望(人口ビジョン)

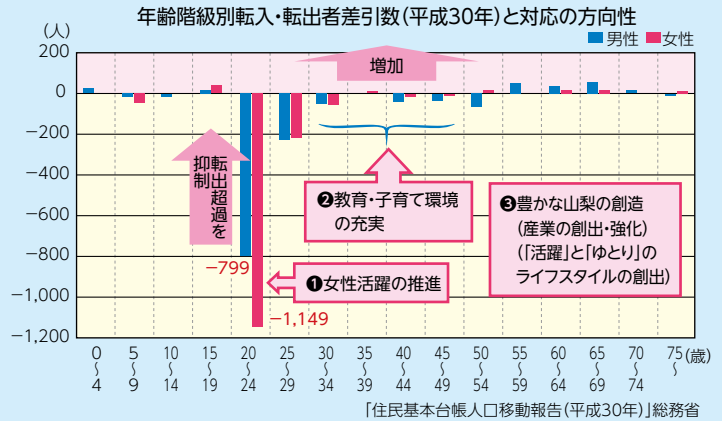
総合計画には、本県の将来像が設定された2040年と、さらにその先の未来に向けて、人口の規模や動きを展望した「人口ビジョン」を掲げています。

### ポイント 1 人口の現状

- 本県の総人口は2000(平成12)年の89万人台をピークとして減少に転じ、2020(令和2)年1月現在、約81万人となっています。
- 県内出生数は減少傾向で、少子高齢化が進行しています。今の傾向が続いた場合、総人口は2040年に64万2千人、2060年に46万9千人に減少し、かつ、世代間の人口バランスは悪化していくと見込まれます。

### ポイント 2 人口の未来を変えるための方向性

- 就職期の若者(特に女性)が大きく転出超過となっていること、子育て世代も転出超過でU・Iターンの動きが弱いこと、そして、こうした社会減が自然減に拍車をかける人口減少のスパイラル(悪循環)が生じていることが問題となっています。
- 対応の方向性として、①女性活躍の推進②教育・子育て環境の充実③経済の底上げによる豊かな山梨の創造の3つを掲げました。

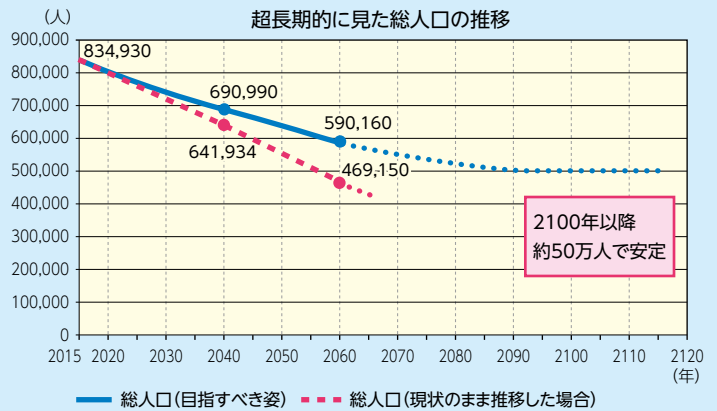


### ポイント 3 人口の将来展望

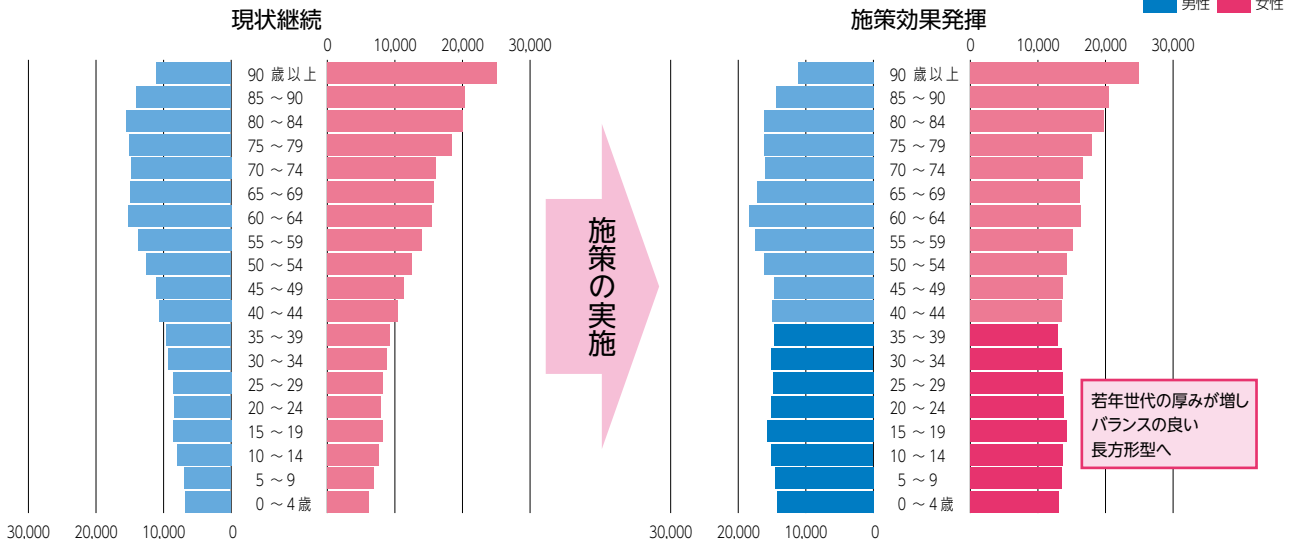
- 当面の人口減少は避けられないとしても、総合計画に基づいた確かな対策によって減少の程度を緩和し、世代間でバランスのとれた持続可能な人口構成へ向かわせることが可能になります。

#### 《将来展望のポイント》

- 人口減少ペースは緩やかに(2040年:69万1千人、2060年:59万人)
- 生まれる子どもの数が減らない社会に
- 超長期的に、人口減少は止まる(2100年以降:総人口は約50万人を維持)



### 2060年における人口ピラミッド改善のシミュレーション



## 基本理念実現のための5つの戦略

総合計画では、取り組みの方向性である5つの「戦略」の下に、その戦略のねらいを実現するための17の「政策」を掲げ、効果的・効率的にさまざまな施策や事業を推進していきます。

### 戦略1

#### 攻めの「やまなし」成長戦略

産業の振興による県内経済の活性化

機械電子産業の集積や果樹を中心とした農産物、豊かな森林、富士山をはじめとした観光資源、リニア中央新幹線の開業など、本県の強みを生かして、県外や海外の需要を積極的に取り込むとともに、ICTを活用した新しいサービスなど、時代に対応した産業の振興を推進し、県内経済の活性化を図ります。

【政策1】 やまなしを牽引する産業の育成

【政策4】 林業の成長産業化

【政策2】 観光産業の振興

【政策5】 地場産業や経済を

【政策3】 農業の成長産業化

循環させる産業の強化

### 戦略2

#### 次世代「やまなし」投資戦略

次代を担う人材の育成・確保

子どもたち一人ひとりに向き合った、きめ細かで質の高い教育が受けられる環境を実現させ、地域の産業との連携などによる産業人材の育成を進め、本県の次代を担う人材の育成・確保を図るとともに、スポーツ・文化の振興を進めます。

【政策1】 一人ひとりの個性を生かした教育の推進

【政策2】 産業を支える人材の育成・確保

【政策3】 文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮

### 戦略3

#### 活躍「やまなし」促進戦略

誰もが生涯を通じて活躍できる環境の整備

子育て支援の充実や働き方改革の推進、就業環境の整備などを進めることにより、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍、家庭の事情などに関わらず、誰もが生涯を通じて、その人らしく働き、地域で活躍することができる環境づくりを進めます。

【政策1】 誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備

【政策2】 希望を叶える子育て支援等の充実

【政策3】 地域へのひとの流れの強化

### 戦略4

#### 安心「やまなし」充実戦略

保健・医療・福祉の充実と持続可能な社会への転換

日本一の水準にある健康寿命の更なる延伸など、誰もが安心して暮らすことができるよう、保健・医療・福祉の充実を図るとともに、自然環境の保全や地球温暖化対策の推進など、持続可能な社会への転換を進めます。

【政策1】 健康・命を守る保健医療の確保

【政策2】 地域で安心して自分らしく暮らすことができる福祉の充実

【政策3】 環境と調和した持続可能な社会への転換

### 戦略5

#### 快適「やまなし」構築戦略

産業や生活の基盤づくり

産業や生活の基盤となる交通インフラなどの整備を進めるとともに、防災・減災を含めた災害時の対応の強化や、暮らしを支える生活環境やコミュニティの維持・活性化の支援を図り、ハード・ソフト両面にわたり、産業や生活の基盤づくりを進めます。

【政策1】 産業・生活を支える交通インフラの充実

【政策2】 災害に強い強靱な県土づくり

【政策3】 良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくり

## 多様な主体とのパートナーシップ

- 県民の皆さまはもちろん、市町村、関係団体、民間企業、NPO、教育・研究機関などの多様な主体とのパートナーシップを重視
- 「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を実現するという目標を共有
- 多様な主体との連携・協働により施策・事業を推進

